野田市立児童館指定管理者
候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時　　令和８年２月９日（月）午後１時５５分から午後２時２０分まで
開催場所　　野田市役所５階　ＯＡ研修室
出席委員　　総務部長（委員長）、企画調整課長（副委員長）（代理出席）、健康子ども部長、行政管理課長、管財課長
欠席委員　　無し
事 務 局　　児童家庭課、行政管理課

１　開会
＜委員長から開会の言葉＞

２　議事
令和７年度（４月～１２月）野田市立児童センターほか６施設業務報告書及び令和８年度野田市立児童センターほか６施設業務計画書の審査について
＜事務局から令和７年度（４月～１２月）野田市立児童センターほか６施設業務報告書及び令和８年度野田市立児童センターほか６施設業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞
○　収支状況報告について、その他収入の実績額が予算額を大幅に下回っている理由は。
→　その他収入については、主に工作教室の実施に伴う材料費等の実費徴収金として見込んでいたが、当初の想定よりも材料費等の経費を低く抑えることができたため、参加者からの実費徴収額を減額したことによるものである。
　なお、実費徴収金の減少に伴い、対応する材料費及び消耗品費の支出も減少している。

○　サービス向上のための取組について、夏季休業期間中に施設の開館時間を１時間前倒ししたとあるが、実施期間を教えてほしい。また、実施期間中の人件費はどのように対応したか。
→　実施期間は７月１９日から８月３１日までである。
　人件費については、開館時間の繰上げに伴い必要となる経費を積算し、指定管理料を増額して対応した。

○　サービス向上のための取組について、水遊び場の上部に暑さ対策として遮光ネットを設置したとあるが、取り付けているロープ等の経年劣化による事故防止の

ため、定期的な交換を行うなど、利用者に危険が及ぶことがないよう対応してほしい。

→　安全な運用方法を市と指定管理者で協議し、適切に対応する。

○　管理職による現場確認の状況について伺う。

→　児童センターについては月に１回程度、子ども館６館については年に２回程度施設を訪問し、現場の状況確認を行っている。子ども館への訪問は年に２回程度にとどまるものの、児童センター長が全館を所管する統括責任者を兼任していることから、各子ども館の状況についても随時情報共有を行うなど、運営状況について適切に把握している。

○　施設の利用状況報告について、児童センターの利用者数見込みが、計画を約７，０００人下回っている原因は何か。また、利用者数を増やすための方策はあるか。

→　令和７年４月の中央子ども館のリニューアルオープンに伴い、特に乳幼児の遊び場の選択肢が増え、利用者が分散したことが考えられる。

利用者数を増やすための方策としては、年齢に応じた魅力的なイベントを企画及び実施するとともに、ソーシャルメディア等を活用した周知活動を強化する。

なお、子ども館６館を含めた全体の利用者数は増加していることから、今後も７施設全体で利用者数の増加を図るため、引き続き利用促進に努める。

○　事故、要望又は苦情の対応状況のうち、児童センターにおいてロッカーに入れていた財布が紛失した事案について、発生件数は１件のみか。また、ロッカーに施錠機能はないのか。

→　件数は１件である。

ロッカーについては、利用者自身が暗証番号を設定するタイプの鍵が設置されている。

＜審議の結果＞

令和７年度（４月～１２月）野田市立児童センターほか６施設業務報告書及び令和８年度野田市立児童センターほか６施設業務計画書について承認

３　閉会